

相馬
ゆうこの

南千住レポート

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

区議会控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627

FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX:3807-4192



・HP→

・X(旧ツイッター) @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp

信じられない「汐入」廃止、「さくら」値上げ案

この間、レポートでさくらバス問題を取り上げ、みなさんのご意見を紹介してきましたが、今回このようなご報告をしなければならぬことが悔しくてなりません。



17日(水)の建設環境委員会で、京成バス(株)から区のコミュニティバス「さくら」の値上げ・「汐入さくら」の廃止の提案が報告されました。

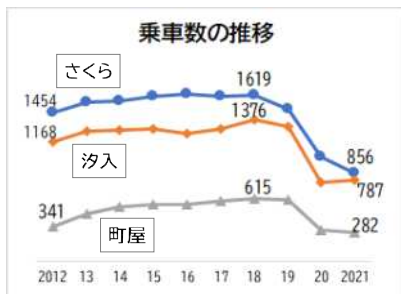
京成バス株の提案

汐入 さくら	「代替となる都営バスがあり、影響は最小限にとどめられる」	→	廃止
さくら	「収支の改善を図る」	→	180円→220円に値上げ

今年度末から



「さくら」「汐入さくら」は3月末に大幅な減便となり、日本共産党区議団はコミュニティバス存続のため、アンケート等で要望を聴きながら区に補助の実施と改善の提案を繰り返し行ってきました。一方、京成バス(株)は「減便後も



運行経費に合うだけの乗車人数に達しない」として、

「汐入さくら」については「代替となる都営バスがあり影響は最小限にとどめられる」と今年度末で廃止に、「さくら」については「収支の改善を図る」として運賃を180円→220円に値上げすることを提案。

住み続けられるまちへ
問われるまちづくり

荒川区は、「京成バス(株)の意向は多額の補助があっても変わらない」として、これまで補助を行わず京成の自主運行としてきた正当性を強調。しかし、京成バス(株)は7つの自治体でコミュニティバスを運行しており、荒川区だけが補助を実施していないため真っ先に廃止対象路線となったことは明かです。地域交通を民間任せにすれば不採算路線は切り捨てられてしまいます。

マンション建設は事業者まかせて、交通弱者の移動や買物の困難が増加するなか、交通アクセスの計画もない都市計画でいいのでしょうか。自治体の役割と住み続けられる荒川区のまちづくりが問われています。

★京成バス株が運行している
コミュニティバス(7月時点)

自治体	コミバス名	料金
荒川区	さくら	180円
台東区	ぐるーりめぐりん	100円
墨田区	すみだ百景	100円
八千代市	八千代台コース	170円
流山市	ぐりーんバス	180円 (初乗り)
市川市	梨丸号	160円
習志野市	ハッピーバス	160円

暑い夏は、荒川区の入浴券で銭湯へ！

荒川区が配布している入浴券で、お得に銭湯を利用することができます。近くに銭湯がなくなかなか行けない場合もあるかと思いますが、この機会にぜひご利用下さい。

★親子ふれあい入浴

「親子ふれあい入浴券」の提示で、月1回無料で区内の銭湯を利用できます。券はふれあい館や銭湯で配布、区のホームページからダウンロードもできます。

対象：区内在住の親子。親でなく祖父母でもOK、保護者が2人以上でもOKです。子どもは中学生まで。

日時：毎月第3土曜日



★ふろわり200（65歳以上）

「ふろわり200」の入浴カードの提示で、週1回200円で区内の銭湯を利用できます。カードを受け取るには申請が必要です。

対象：区内在住の65歳以上の方。誕生月から使用できます。

申請：区役所2階・高齢者福祉課、各区民事務所、各地域包括支援センターにて。保険証か免許証と印鑑をお持ちください。



親子ふれあい入浴は、日にちが指定されているとなかなか行けない場合もあるので、月1回ならいつでも使えるようになるといいのでは。また、子どもが異性の場合だと使いにくいかも？もっと使いやすく工夫できないか考えてみたい。

若い方や単身の方の入浴券もあっていいのでは、と思います。日本の銭湯文化も危機的状況に、災害時の役割も考え地域で支えていきたい。

5丁目でも空き地がふえています

南千住5丁目で気になる空き地。二瑞小そば（右）では隣



家への事故もあり5戸の共同住宅建設を取り下げ、空き地のままに。二瑞小の裏では大規模駐車場（左）が6月いっぱい閉鎖。マンション建設の計画届出はないものの、今後どうなるでしょうか。



〈法律・生活相談〉 8月の定例法律相談日は お休みです

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での8月の定例法律相談は、お休みですが、平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

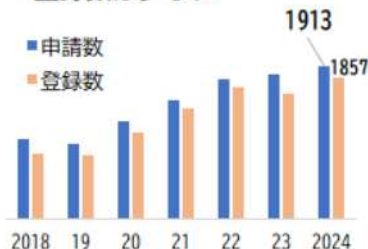
共働き世帯増加～こどもの居場所づくりは

放課後や夏休みなど学校休業期間に、こどもたちが安全で豊かにすごせる生活の場の確保が大切な課題です。

年々、学童クラブ利用がふえ、今年度は学童28か所中12か所で申請数が定員超過、11か所で他学童への「調整」が行われました。



申請数よりも実際の登録数は少ない



申請1,913名のうち154名が第一希望の学童に入らず、そのうち72名は学童ではなく「にこすく（※放課後子ども教室）」の利用に。毎年、申請数よりも実際の学童登録数が少なくなっており、申請しても利用できない現状も。区は「学童の待機児をつくらない」という方針ですが、結果的に学童保育が必要な子どもたちに保育を提供できない事態もあり、増設など改善が必要です。

※放課後子ども教室とは
学校の余裕教室や体育館等を活用し、放課後の遊びを支援する事業。学童と違って利用要件や環境整備の基準等はなく、登録すれば誰でも利用可能

にこすくの「開始前倒し」を試行

「にこすく」は、開室時間やおやつ提供、職員の配置基準などに違いがありますが、どちらも充実が必要です。「にこすく」の「開室時間の前倒し、延長」を希望する声も切実で、

保育に欠ける児童対象の学童クラブと、全児童対象の“にこすく”

区はこの夏休み期間中に開始時間をこれまでの9時→8時15分に早める試行の実施を決定。試行終了後、すべての“にこすく”での実施を検討します。

親の就労要件が足りず学童に入れないため、にこすくを利用。親は8時過ぎには家を出るので、にこすくが始まる9時までは子どもがひとりに…。開始時間がもう少し早ければいいのに



モデル実施：尾久小、ひぐらし小の2か所
実施期間：夏休み中の29日間（7月22日～8月30日で土曜日を除く日）
実施方法：保護者の事前申請が必要

学童では今年から夏休み期間中などにお弁当の提供が始まります。“にこすく”では利用開始時間が早まっても昼食やおやつはなく、1日どのように過ごすのか、保護者のみなさんも心配があるのでは。せめて、夏休み期間など学童も“にこすく”も希望者には、学校給食を提供してはどうでしょうか。

学童の増設、環境の充実を 地域的にはマンション建設と児童増が続き、希望する子どもたちを受け入れる「一小学校・一学童」の設置と“にこすく”の整備が不可欠です。



これまで、マンション事業者などに協力を求めても協力が得られず、三瑞小など学童の用地確保に苦勞し、学校外学童も大規模化しています。マンション事業者など開発者に応分の負担を求め、教育施設や児童施設の整備に力をいれ、学童も小規模化して、子どもたちがのびのび育つ荒川区にしたい。

隅田川で魚1,000匹が回収に…原因は？

7月10日(水)、隅田川の桜橋～両国橋間を中心にコノシロなどの魚約1,000匹が突然死していることが確認されました。都が現地に職員を派遣、魚の回収と水質などの調査を実施したところ、毒物は検出されず原因は不明に。その後、新たな死魚は見つかっていないとのこと。

【隅田川の魚の突然死 発生状況】

隅田川の魚の突然死はこのところ度々報告されており、2019年に水神大橋～永代橋間で約3,000匹、22年に瑞光橋～永代橋間で約1,000匹、昨年は汐入大橋付近で約700匹が見つかっています。

		発生場所	死魚数	溶存酸素量(DO)
2019年	7月8日	水神大橋～永代橋	約3,000匹	2.3mg/L
2022年	7月11日	瑞光橋～永代橋	約1,000匹	18mg/L
2023年	8月3日	汐入大橋	約700匹	0.34mg/L
2024年	7月10日	桜橋～両国橋	約1,000匹	8.6mg/L

酸欠、赤潮… 身近でも影響

2019年・23年は水中の「溶存酸素量(※右)」が基準値を下回っており、魚が酸欠になったことが原因のようです。一方、22年と今年は基準値を上回っており「原因不明」ですが、赤潮の発生で溶存酸素量が増加し、水中のプランクトンが異常増殖すると、魚などのエラ組織が傷つき酸素を取り込めなくなって死亡することもあるそうです。



※溶存酸素量(DO)とは…

水中の酸素量を示す値。隅田川の基準値は5mg/L



また、溶存酸素量は温度が高いと減るため、気候変動による気温・水温の上昇も魚の死亡の一因に。身近なところで気候変動の影響が出ています。温暖化対策をできることから始めたい。

まちの不具合をアプリで共有

公園や河川などの不具合をアプリに投稿、自治体と共有できる仕組みを東京都が導入しています。対象は都が管理する都立公園(汐入公園等)、都道(コソ通り等)、隅田川テラスなどの河川。不具合を発見しスマホで撮影、アプリに投稿し、後から都の対応状況を確認することもできます。



「マイシティレポート」で検索を

約2年間の試行では開庁時間外の投稿が75%で、「通報機会の拡大につながった」とのこと。23区では千代田、港、品川、葛飾などが導入。気が付いた時すぐに自治体にお知らせできるのはいいかも。



ご意見・ご質問頂きました ○さくらバスについてのご意見…「GTFSへの対応が不十分で、都バスを利用することに…」「都バスと時刻表がかぶりすぎて乗る人が分散、一つのがすと、都バスもさくらバスも両方待つというシーンが多い」「東口、西口の同時発車をずらしてはどうか？」など、利便性向上対策を利用者のみなさんから声をいただきました。区も京成バスももっと検討できないのでしょうか。赤字の運行事業者の苦境もわかりますが、自治体が区民のためにどう予算を使うのか、問われていると思います。区長選挙もありますから、大いに聞きたい。

